

平成28年度

## 第3回公開研修会の報告

第3回公開研修会は午前の部、午後の部で内容を変えて開催しました。南が丘公民館にて行いました。

第3回 8月 23日(火) 午前の部

講演 『高次脳機能障害への理解と具体的な支援』

秦野養護学校C部門 かもめ学級 松尾 千絵教諭  
(神奈川リハビリテーション病院 院内学級)

今回は本校のかもめ学級の教諭が高次脳機能障害についてお話ししました。かもめ学級は、事故や病気の後のリハビリのために入院している児童生徒がいる本校の院内学級です。はじめに、院内学級としての実態や、時間割、果たす役割などの紹介をしました。そして、脳炎や事故などから見た目は回復しても、脳に残ったダメージのために、以前と違う疲れやすさや行動のつまずきが見られる高次脳機能障害について、具体的な症状や、対する効果的な指導・支援について、事例を挙げながらお話ししました。

かもめ学級が作成した『小児の高次脳機能障害 支援ガイドブック』は、秦野養護学校ホームページからダウンロードできます。ぜひ、ご活用ください。

第3回 8月 23日(火) 午後の部

講演 『通常学級におけるユニバーサルデザインと合理的な配慮』

日本授業UD学会 湘南支部より 小田原市立豊川小学校教諭 片岡 寛仁氏  
小田原市立東富水小学校教諭 上條 大志氏

通常学級におけるユニバーサルデザインの授業についての実践をたくさん紹介していただきました。ユニバーサルデザインのポイントに「焦点化」「視覚化」「共有化」の3本柱があり、そこを意識して教材や授業を工夫することで、子どもたちが笑顔で溢れ、意欲的に学ぶ様子を実際の指導場面の映像を通して、たくさん見せていただきました。

また、取組に困難のある状態を模擬的に体験活動させていただくとともに、板書等の色使いや工夫、合理的配慮について教えていただき、新たな発見をさせていただきました。



問い合わせ先

県立秦野養護学校  
支援連携グループ 村上・新妻  
0463-81-5901